

留 学 報 告 書

記入日:2017年1月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部機械工学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語: California State University Long Beach
留学期間	2017年8月～2017年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	機械及び航空工学科 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年1月18日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月下旬～12月下旬 2 学期: 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約 37000 人
創立年	1949 年

留学費用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	3825	420750 円	
食費	1630	179300 円	寮の食堂費のみ
図書費	741	81538 円	教科書
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	1168	128000 円	形態:明大保険+1CSULB 保険
渡航旅費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	7364	810062 円	



渡航関連

渡航経路:HND-LAX

渡航費用

チケットの種類 Fix Open

往路 _____

復路 _____

合計 22.5 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

H.I.S.

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮

2)部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数 2)

3)住居を探した方法:

オンライン

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

友達をつくりやすかった。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友人。相談窓口あり。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネット。巻き込まれたことなし。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス、寮内は安定した Wi-Fi が使える。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

主にクレジットカードを使っていたが、現金が必要な時は日本の口座から引き出していた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

こだわりのあるもの(下着、薬など)。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。 留学前、最中、後の情報収集が大切だと感じる。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Power Plant Design	発電所設計
科目設置学部・研究科	Mechanical & Aerospace Engineering
履修期間	2017 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とグループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	
授業内容	発電サイクルについて。
試験・課題など	宿題、グループワーク、中間試験、期末試験
感想を自由記入	プレゼンテーションが大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Flight Mechanics	航空工学
科目設置学部・研究科	Mechanical & Aerospace Engineering
履修期間	2017 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Adeline Schmitz
授業内容	飛行機について。
試験・課題など	クイズ、中間試験、期末試験
感想を自由記入	明治大学にはない分野だと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Propulsion	推進力
科目設置学部・研究科	Mechanical & Aerospace Engineering
履修期間	2017 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	James R. Lewis
授業内容	ジェットエンジンについて
試験・課題など	宿題、クイズ、ノート、中間試験、期末試験
感想を自由記入	ロケットや飛行機のためのエンジンについて、JPL の先生に学べて良かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Design and Analysis of Mechanical Systems I	機械システムの設計及び分析
科目設置学部・研究科	Mechanical & Aerospace Engineering
履修期間	2017 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とグループワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 110+75 分が 1 回
担当教授	Surajit Roy
授業内容	機械の設計について。
試験・課題など	宿題(個人)、宿題(グループ)、設計実習(グループ)、中間試験、期末試験
感想を自由記入	機械工学の集大成のような授業だと感じた。

留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	選考書類作成 学内選考出願
2017年 1月～3月	学内選考面接
4月～7月	ビザの取得 留学先への出願
8月～9月	渡米
10月～12月	Thanksgiving 周辺 10 日間休み 期末テスト 旅行
2018年 1月～3月	帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	留学は、全く新しくより難しい環境に身を置くとても良いチャンスだと考えたからです。言語や文化、考え方の違いや障害を経験することで成長できると考えていました。また、機械工学を英語を学ぶことは技術者にとって良い経験になると考えていました。そして、明治大学での授業とは異なる科目を履修することで、自身の分野の幅を広げられると思っていました。なにより、多くの留学経験者が"とにかく楽しく、もっと早く行けば良かった"と言っていたため、自分も試してみたいと感じていました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力の上達、特にリスニングをたくさん練習するべきだと感じました。自分が発信したい場合は不完全な英語でも話し相手がくみ取ってくれる場合が多いが、聞き取るには自分自身が努力するしかない。また、留学先の単位を振替すると修得できる単位は、明治大学で履修するときよりとても少なくなる。そのため、卒業に向けての履修計画を明確にし、留学出願前に卒業要件単位を計算する必要がある。キャンパスなどの情報収集も非常に大切だと思います。特に寮には多くの種類があり、より良い選択をするためには先輩などに聞くことをお勧めします。
この留学先を選んだ理由	交換留学ができる大学が自分の中の選択肢であり、TOEFLの点数によってさらに限定されました。漠然とアメリカに憧れていたため、アメリカの大学が第一志望でした。多人種、多文化、強い経済力のイメージを持っており、非常に興味がありました。また英語圏であるということもとても大きな理由でした。その中で、自分の専攻している機械工学の授業が充実しているこの大学を選びました。明治大学の必修科目に単位振替できる見込みのある授業があることも決め手の一つでした。
大学・学生の雰囲気	南カリフォルニアに位置し、とても住みやすい気候、環境だと感じました。暖かい気候ということもあり、学生や街の人々からはのんびりした雰囲気を感じました。キャンパスは非常に広大で、ジム、ボーリング場、ビリヤード台、運動場を含む様々な施設がありました。芝生、木々、リスなど自然も多く、リラックスしたキャンパスライフを送ることができます。芸術や映画、工学、コミュニケーション、経済など様々な分野を勉強する学生に出会うことができます。留学生も多いと感じました。
寮の雰囲気	寮の施設は正直不十分で、ベッドと勉強机しかない印象でした。その割には、料金がホームステイに比べて高いと思います。しかしホームステイと比べてときの利点は、友達をつくるには良い環境であることです。特に食堂では多くの友達と出会うことができました。またキャンパス内もしくは近くに住めることで、通学に便利なのはもちろん、友達と集まるのも容易で、楽しいキャンパスライフを送れると思います。そして寮生限定のイベントなどもありました。
交友関係	非常に楽しく、尊敬できる国際的な友達をつくることができました。特に他国出身の親しい留学生グループで旅行などを楽しみました。インターナショナルスチューデントアソシエーションなどでも交流の幅を広げることができたと思います。ルームメイトとも良い関係を築けたと考えています。食事しに行ったり、船釣りに連れて行ってもらったりと家族ぐるみで良くしてもらいました。授業で友達をつくるのは難しく感じましたが、グループワークなどを通して良い友人をつくることができました。
困ったこと、大変だったこと	携帯電話が一時使えなくなってしまうときは非常に困りました。パソコンは持っていたのですが、普段親との連絡にはメッセージアプリを使っていたため、メールアドレスを覚えておらず、長い間音信不通で心配させてしまった。友人や親との連絡手段は、複数用意しておくことが大切だと感じました。また、公共交通機関が不十分で、車を運転できない留学生にとってはどこへ行くにも非常に不便でした。そして、運転できないため、より治安に関する情報収集が必要でした。
学習内容・勉強について	学生は質問など発言を積極的にし、クラス全体で授業を作り上げていっているように感じました。英語での授業は、聞き取るのが非常に大変でした。しかし、数学や物理は世界共通なため、全ての英語が理解できなくても、式から理解することで十分ついていけました。グループワークでは、自分のアイデアを求められることが多く、良い経験でした。また学生のみで一から機械設計をするプログラムは非常に大変でしたが成長できた気がします。

課題・試験について	工学関連の科目の宿題は比較的少なかったように感じました。コミュニケーション関連の科目を受講している学生は、毎週教科書数十ページを読むような宿題が課されていたようです。そのような宿題は一度も経験せずに済み、時間には余裕がありました。ほとんどの試験及びクイズは、教科書持込可だったため、教科書を暗記するような労力が必要なく、学習したことをいかに使いこなせるかをはかるようなものでした。プレゼンテーションは非常に大変でした。
大学外の活動について	「遊ぶ」以外の学外活動は特にできませんでしたが、本学OB会である南カリフォルニア明治大学校友会のバーベキューに参加させていただきました。アメリカに住む先輩方から貴重なお話をお聞きしたり、楽しい会話をさせていただきました。また、南カリフォルニアの他大学に留学している明大生とも話をすることができました。様々なつながりを感じるとともに、多くのことを学ばせていただいた食事会でした。就職活動やインターンシップ、ボランティア活動などはすることができませんでした。
留学を志す人へ	語学力テスト、出願校の絞り込みや留学計画書など、学内選考だけでもやることが多くとても大変だと思います。留学から帰ってきた現在でも、出発前の準備が最も大変だったと感じています。しかし、それと同時に、その大変なことをやった価値は十分にあった留学生活だったと自信をも持って言うことができます。とにかく楽しかった5か月間であり、人生の中で忘れない思い出になると思います。誰もが経験できるものではないと思うので、チャンスがある方はぜひ挑戦してみてください。そして、留学が決定した方、自分にプレッシャーをかけ過ぎず楽しんできてください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中			通学 授業				
		通学 ミーティング	自習				
午後	通学	授業	自習	通学 授業			
	自習	自習	自習	自習			
夕刻	自習	自習	自習	自習			
夜	授業	授業	授業	授業			

